

議案第82号

人権擁護委員候補者の推薦について

次の方を人権擁護委員候補者に推薦することについて、人権擁護委員法(昭和24年法律第139号)第6条第3項の規定により、議会の意見を求めます。

令和2年6月5日提出

佐野市長 岡部正英

住 所	氏 名	生 年 月 日	職 業
██████████ ██████████ ██████████ ██████████	福 田 紳 一	██████████ ██████████	██████████

理 由

本市の人権擁護委員 福田紳一様は、本年9月30日をもって任期満了となりますので、その後任者を推薦することについて、議会の意見を聞きたいので提案するものです。

参 考

人権擁護委員法抜粋

(委員の推薦及び委嘱)

第6条 人権擁護委員は、法務大臣が委嘱する。

2 前項の法務大臣の委嘱は、市町村長(省略)が推薦した者の中から、当該市町村を包括する都道府県の区域(省略)内の弁護士会及び都道府県人権擁護委員連合会の意見を聴いて、行わなければならない。

3 市町村長は、法務大臣に対し、当該市町村の議会の議員の選挙権を有する住民で、人格識見高く、広く社会の実情に通じ、人権擁護について理解のある社会事業家、教育者、報道新聞の業務に携わる者等及び弁護士会そ

の他婦人、労働者、青年等の団体であつて直接間接に人権の擁護を目的とし、又はこれを支持する団体の構成員の中から、その市町村の議会の意見を聞いて、人権擁護委員の候補者を推薦しなければならない。

4-8 …省略…

(委員の欠格条項)

第7条 左の各号のいずれかに該当する者は、人権擁護委員になることはできない。

- (1) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者
- (2) 前号に該当する者を除くほか、人権の侵犯に当たる犯罪行為のあつた者
- (3) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

2 人権擁護委員が、前項各号の一に該当するに至つたときは、当然失職する。

(委員の任期)

第9条 人権擁護委員の任期は、3年とする。但し、任期満了後も、後任者が委嘱されるまでの間、その職務を行う。

履 歴 書

住 所

[Redacted Address]

福 田 紳 一
[Redacted]

学 歴

1 昭和56年 3月 [Redacted]

職 歴

- 1 昭和56年 4月 [Redacted]
- 1 昭和61年 8月 [Redacted]
- 1 昭和61年 9月 [Redacted]
- 1 平成 3年 4月 [Redacted]
- 1 平成12年 8月 [Redacted]
- 1 平成13年12月 } 民生委員・児童委員 (主任児童委員)
- 平成25年11月 }
- 平成23年 4月 } 佐野市立西中学校学校評議員
- 1 平成25年 3月 }
- 平成23年 6月 }
- 1 平成29年 5月 } 佐野警察署協議会委員
- 1 平成26年10月 人権擁護委員に就任 現在に至る
- 平成27年 4月 }
- 1 平成29年 3月 } 栃木県立佐野松桜高等学校学校評議員

賞

罰

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]